

人工股関節置換術のリハビリテーションにおける足関節アシスト装置の有用性に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2022年5月30日～ 2023年3月31日

〔研究課題〕 人工股関節置換術の周術期リハビリテーションにおける足関節アシスト装置の有用性に関する後ろ向きコホート研究

〔研究目的〕 人工股関節置換術後で歩行障害を持つ患者さんに対するリハビリテーションとしてこれまで理学療法士が見本を見せながら反復していくしかありませんでした。人工股関節置換術を受ける患者さんの歩行練習のリハビリテーションに足首アシスト装置を応用することで歩行障害の改善が期待できます。本研究では人工股関節置換術後に足首アシスト装置を用いた歩行訓練を受けた患者さんの臨床情報を過去のカルテ記録を用いてデータベースを構築し、その効果を後方視的に明らかにすることを目的としています。

〔研究意義〕 本研究に参加することで、人工股関節置換術の周術期リハビリテーションにおける足関節アシスト装置の効果等が明らかになれば、患者さん自身のその後の治療に反映することが期待できます。

〔対象・研究方法〕 2020年7月1日から2021年11月30日に当院で人工股関節置換術を受け、カルテにより調査できるのは約100症例ほどあり、全例調査を目標としています。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部 リハビリテーション医学講座

〔個人情報の取り扱い〕 本研究の結果は、学会などで発表、学会誌にて公表します。更に種々のサブ解析の結果も内外の学会にて発表、学会誌に公表します。本研究の結果は個人が同定されないように集計値として扱い、本研究の実施にかかわる原資料の直接閲覧、医学雑誌への発表などの場合でも研究対象者の個人情報は 保全されるものとします。

〔その他〕 本研究に謝礼金や交通費の負担などは発生しません。

対象となる患者さん、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 緒方 直史 職名 主任教授
研究分担者:
氏名 中原 康雄 職名 准教授

氏名	小黒 大輔	職名	大学院性
氏名	本田 祐士	職名	助教
氏名	今野 陽一郎	職名	主任
氏名	松田 健太	職名	病院准教授
氏名	日高 亮	職名	大学院生

所属: ①帝京大学医学部リハビリテーション医学講座

緒方 直史、中原 康雄、本田 祐士

②帝京大学医学部附属病院リハビリテーション部

今野 陽一郎

③帝京大学医学部整形外科学講座

松田 健太

④帝京大学大学院医学研究科

小黒 大輔、日高 亮

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 16275]